

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 雲柱社 狛江市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種がそれぞれの立場から意見交換を行い、情報の共有や連携を行うことができる。	それぞれの職種が自分の立場を踏まえ、意見を交わすことを意識している。	必要に応じて役割分担をしながら、ご家庭にとって最善となる支援方法を一緒に考えていく。
2	センターから地域(子ども家庭センターや保健センターの相談)に出張して、相談の場を広げている。	センター内だけでなく、相談の場を広げることで初回相談の敷居が低くなり、相談につながりやすくなっている。	出張相談についての周知等、今後も考えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	勤務時間が異なる専門職との細かい情報共有を行うことができていない現状がある。	勤務時間が異なるため、十分な情報共有の時間が取りづらくなっている。	今年度より朝礼・昼礼を行い、予定や職員配置等全体共有できるように取り組んでいる。引き続き職員配置を工夫することで、より綿密に専門職との情報共有を行うことに努める。
2	社会の状況に応じたクラス編成やグループ編成について、設定しきれていない。	人員配置の工夫、部屋数の確保等対応しきれていないことがある。	次年度は並行グループを午前中も開所できるよう検討しているが、今後も利用者の選択肢の幅を増やすようにし、通いやすいセンターとなるよう努めていく。

事業所名 狛江市児童発達支援センター

公表日 2026年3月23日

利用児童数 34名

回収数 18名

	チェック項目	はい				どちらともいえない				ご意見 ※全てアンケートの表記のままです。	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	0	0	人数に対してはちょうどいいと思います。園庭があれば、更に良いと思います。教室では製作をしたりプレイルームではサーキットが出来たりするのでいいと思います。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0	手厚くみてくれているので安心してます。補助の先生も定期的にはいってくださるところ。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	0	1	特性に応じているのかは分かりませんが清潔な環境だとは思いますが。子供たちにはわかりやすい構造にはなっていると思います。エレベーターを動かすと大変ですけど必要な方が使えないのは階段だと大変かなと思います。まだ玄関から離れてるといいのかもかもしれません。	エレベーターは必要時には使用していますので、事務室に声をかけてください。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0	いつも綺麗でとても安心してます。ありがとうございます。建てたばかりなのでとても綺麗だと思います。終わった後でも掃除や消毒などしてくださるみたいなので安心だと思います。				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	0	親の悩みを話してすぐにわかっていただけで有難いです。鋭い指摘をもらい家で実践できることも教えていただけるので有難いです。専門の先生がいるので色々みてもらえてと思います。一人一人にあった内容で工夫してくださってと思います。				
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1	まだ適切かわかりません。				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	面談もあるので、親身になって考えてくれるなと感じます。子供の好きなものを取り入れてくれるところ。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	1	移行支援はこれからなのかと思います。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	少しずつ発達も悪い意味でも成長してるのかなと思います。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2	0	3	何度も繰り返す事で学べる事もあるのかなとも思うので、固定化される事もあるのかなと思いました。どうしてもパターンは一緒になってくるのかと思います。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	4	3	2	9	個人的にはあるが、クラスの中であるのかはわかりません。なかなか交流は難しいと思います。	同じ法人内の保育園等と情報共有を行っています。企画については模索中です。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	1	0	利用する前の説明会の内容が、資料をよりわかりやすく説明する会のように感じた。また、園から勧められてまだ子どもの特性について受け入れることが難しい段階で、障害児、障害名、障害、できないこと、などといった直接的な言葉を使った説明もあったのがとてもしんどかった。前向きに療育を始めようという親が、気持ちを沈めずに話してくれるとありがたい。詳しく色々説明してくれました。書類に沿って説明がありました。	できるだけ分かりやすく説明するように努め、利用に関して質問・個別の相談等に答えられるようにしていきます。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	わからない所があれば相談にものってくれているのでありがたいです。しっかり計画されていました				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	0	1	毎回、参加できる時は参加させていただいています。認識がないです。	ペアレントプログラムや先輩保護者懇談会など周知に努めます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	0	0	0	ちょっとした事でも教えて頂けるのでありがたいです。それなりに出来ていると思います。				

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	0	0	送迎のタイミングでも聞けるのでありがたいです。それなりに出来ていると思います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	不快に思うことは少ないです。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	2	4	きょうだいむけ、は不明。 兄弟同士はわからないが、保護者同士の交流はあるので色々聞けてためになります。 ちょうどよい頻度です。	建物や部屋数の都合上、一同に集う場所を作ることが難しいのですが、今後兄弟同士が関われる機会の提供も検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	0	0	個別に話を聞いてくれる事もあるので嬉しいです。たまに過剰さを感じる時はあります。	職員間では、必要に応じて役割分担しながら情報の共有化に努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	1	それなりに出来ている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	4	1	2	できている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	4	訓練は行ったようですが、その日は欠席していたので内容は詳しく聞いておりません。 出来ていると思います。	避難訓練を行った際は、どのような設定（地震・火災・不審者等）でどんな訓練を行ったか等、園だより等で報告することを検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	5	子供の扱いが難しいなか良くやっていると思います。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	3	出来ているかみえないです。	センターの安全計画等は、2階入り口横の閲覧コーナーにファイルを置いてあります。再度周知に努め、情報を活用できるようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2	0	3	いつもありがとうございます。	センターで作成しているマニュアル（感染症予防・アレルギー発生時の対応・誤嚥対策・嘔吐処理・怪我が起こった際・てんかん発作等対応等）に沿って対応しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	いつもありがとうございます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	とても楽しみにしています。 毎朝、楽しみにしています。 ひだまりの玄関入る前からニコニコです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	いつもありがとうございます。	

事業所名 狛江市児童発達支援センター

公表日

2026年 3月23日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2	クラスごとに時間を考えて利用している。 机上の活動、身体を動かさずなど課題によって部屋を変えている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	職員が休んでも大丈夫な人員確保と、必要に応じて調整をしている。	職員の出欠席情報が直前まで不確かな時があるため、正確な表示と最新の情報の共有体制をとる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	子どもの手が届くところにコンセント類があったり、ホワイトボードが高すぎるなどの環境に対しては、机の位置を変えるなど子どもにとってよい動線等を考えて工夫している。	玄関の狭さ、セキュリティー体制については、今後も検討していく。今年度段階の子ども用手すりを設置した。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	2	換気や衛生面に気をつけている。	掃除箇所や片付け作業にどの様な作業があつてどこまで行われたのか（SA等のトイレの清掃チェック表の様イメージ）どの職員がみてわかる様なチェック表で「見える化」を検討する。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	子どもの状態によって、空いている部屋を利用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	3	その時間を取ったりすることが難しい。 時間を取っている。 神保先生による研修でどうしたらセンターに入りやすい雰囲気になるかグループワークがあつたが実際に具体的な行動はないままである。完全には難しくても表示をつける等できそうな事は取り入れられたら良いと思う。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	行事ごとにアンケートを集計し次年度に生かせるようにしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	管理職との面談の機会が必ずある。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	一人ひとりに研修受講の機会が与えられている。	今年度初めには感染予防・虐待防止についての研修動画視聴を全職員対象に行っている。今後も学べる機会を意識的に作っていくように取り組む。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ホームページ上で誰でも閲覧出来るようになっている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1		わかりやすいツールの活用を検討していく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	クラス内で必ずケース会議を持っている。	他の職種の人たちとの話し合いができるような時間を作っていく。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2		勤務時間中での共有が難しく、伝えきれていないことが多いため、共有できる時間の確保や伝え方を工夫する。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	3	個人記録では行動の状況を振り返っている。	アセスメントの観点では難しい場合もあるため、会議などでポイントを伝える。またはアセスメントシートのようなものを共有する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	項目を整え、職員間で共通の内容が設定できるようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	クラス会議内で話し合いが持たれている。	個別訓練で具体的にどんな事をしていてどんな見立てであるのかを知る機会があるとクラスだけではなく、一人の子どもに関わるチームとしてのプログラムになっていくため、共有できる場を検討する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	定期的に見直している。 子どもたちに分かりやすい回数なども調整しながら取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	専門職と保育士が連携を取りながら子どもについて考えることができる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	各クラス打ち合わせの時間を持っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0		その日の振り返りだけでなく、課題の気付きなども振り返れるようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	個人記録を丁寧に記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1		
関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	子ども家庭支援センターや母子保健事業の一貫として出張相談を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	必要に応じて園連携を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	就相のための資料作成、就学支援シートなどの作成を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	0	人事交流、連携会議など定期的に行なっている。	
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1	ケース会議を行っている。	実際の支援現場を見て助言を受ける機会を設けていく。	

連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		何か良い機会があれば検討して取り入れる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	日々の送迎の時間を大切にしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	通園の保護者に参加できる機会が保障されている。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	入園前に必ず説明の機会がある。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	保護者との面談の機会を必ず持っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	必ず手渡しで説明するようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	クラス担任だけでなく、児発管・センター長など誰でも相談できるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1	交流とまではいかないが、先輩保護者会など参加の機会を確保している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	情報を共有しながら誰でも相談できるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	お便りのメール配信を行なっている。	SNS等については個人情報保護のため行っていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		今年度は出張相談という形で地域に向けた取り組みを行った。今後もセンターとしてできることを検討していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	月1避難訓練を行っている。	
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17	3	業務継続計画の職員への周知。防災係を中心に策定を行い、月1避難訓練も実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	年度初めに健康の記録を確認している。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	エビベンについて、関わる職員全員で講習と実地訓練を行った。	マニュアルの見直し検討する。さらに職員全体に周知するよう努める。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	月1で防止会議を行うようにしている。虐待防止のための動画研修を職員全員に行い、研修の機会を確保した。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0		